

高知県商工団体連合会 NO.1048(54-42)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosyoren.jp

このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

インボイス学習を力に、中止・延期の声を広めよう

対策学習会に会外から56人参加

全民商が、2月・3月に会外向け「インボイス対策学習会」を開催しました。14回開催し、26組、56人の会外の方の参加がありました。

■高知民商 2月5日

高知新聞にチラシを折り込んだ直後から予約の電話があり、学習会の当日も「今からでも予約できますか?」との問い合わせがあるなど、関心の高さが伺えました。会場は旭にある「ソレ」。開始の25分前から参加者が集まり始め、開始時刻の5分前に参加予定者全員が揃っていました。

この日の参加は7組14名でした。

参加者全員が「免税事業者」で、同じ立場ということと学習もしやすく、悩みも同じという感じでした。

『インボイスという言葉聞いたことがある方は?』

■2023年 春の運動(仲間増やし)

4/2 現在	大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	5	2	3	0	0	4
香美郡	30	6	8	0	0	15
南国	16	3	5	1	0	8
高知	39	11	13	7	1	17
仁淀川	5	1	0	0	0	3
須崎	6	1	0	0	0	3
中村	5	1	2	0	0	5
計	106	25	31	8	1	55

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

との問い掛けには、全員が手を挙げ、『インボイス登録を取引先から言われている方は?』との問い掛けには、誰も手を挙げませんでした。

学習会の後には、質問も寄せられました。簡単に悩みを記載します。

▼花屋

基本的にお客さんに領収を求められることは無いので、お客さんのほとんどが一般の消費者ではないか。しかし、月に2万円ほど、病院が花を買ってくれており、領収を求められる。そこがインボイスを言ってくるかが分からないので、言われるまでは登録をせずに、様子を見ようと思う

▼不動産

4軒貸している不動産のうち、1軒が事業者。そこが一般課税かどうかは聞かないと分からない。もし、そこがインボイスの発行を求めてきた場合どうするか。その売上は全体の1/5を占めているので、売上がなくなるとは困る、登録するしかないか。

▼建築塗装

大手建築会社の下請けとして入っている。登録を求められる可能性がある。しかし、消費税もともに貰えていないのに、課税事業者に切り替えたとして、どうやって消費税を払えば良いのか。

払うお金がない ▼紙加工

誰がこんな制度を考えたのか。小さい業者は必要ないということか。困った時は民商やね。少しだが反対運動に協力しようと思う

▼ヨガ、インストラクター

企業や自治体の求めに応じて、週に3回ほどの講習会を開催している。報酬に消費税などは含まれていないので、自分には関係ないと思っていた。今後、インボイスを求められた場合の対策を考える機会になった

■香美郡民商 3月19日

香美市中央公民館で、会外向けの「インボイス学習会」を開催し、4組4名が参加しました。

全員が免税事業者で、みなさんどんな影響を受けるのか、気になっていたそうで、説明を聞きながら熱心にメモを取っていました。

質問もたくさん出て、関心の高さがうかがえました。参加者から「業者にとってやさしくない制度ですね。やめてほしい」「他の団体のインボイス説明会に参加したが、制度の説明だけで、自分が何をしなければいけないのかわからなかった。今日は、具体的な対策が学べたのでよかったです」と感想がありました。

(3/27 香美郡民商会報)

税務相談停止命令制度とのたたかい⑤

浦野広明税理士(元立正大学法学部教授)

「質問に答えて」

会計業務は誰がやってもいい。仕分けだとか、会計処理、元帳を作ることは税理士法違反ではありません。

コンピュータ(の会計ソフト)

で申告書までできるわけですから、民主商工会が申告書を作っても問題はない。自主的な団体活動として申告書を作ったり、元帳を作ったりしているだけの話です。

自主的な活動ですから、内部で何やろうといちいち国が介入することではありません。民主商工会が法人税の申告書を作っても何の問題もないと私は考えます。

自分たちでやっているのではなく、自主的な団体の活動としてやっているのです。そんなことにいちいち介入されない、それが憲法21条の精神です。

(つづく)

憲法施行76周年県民の集い

「戦争を回避する道すじ」

—武力で平和は守れない—

■4月29日(土・祝)

14:00~16:00

■高知城ホール(4F)

■参加費 1,000円

(中高大学生は無料)

■前川喜平さん・プロフィール■



1955年 奈良県生まれ。

1979年 東京大学法学部卒業、文部省(現文部科学省)に入省。文化庁宗務課長、初等中等教育局財務課長、大臣官房長、初等中等教育局長などを経て、2016年文部科学事務次官。2017年 退官。

現在、現代教育行政研究会代表、日本大学文理学部講師。福島市と厚木市で自主夜間中学のスタッフも務める。

著書に『面従腹背』『権力は腐敗する』『コロナ期の学校と教育政策』など

■オンライン参加もできます。詳しくは事務局まで

反骨の人 前川喜平さんが語る (対面集会)